

## 京王多摩川まち歩き

7月28日、京王多摩川駅構内や周辺を歩いてみました。総合福祉センターが「京王安ジェの跡地」に移転予定であり、多くの利用者が困惑していると聞いたからです。

駅構内を点検してみると、エレベーターはホームの一番端にあり小さい。ホームはカーブしていて電車との隙間が25cmのところもある上、線路側にやや傾斜している。ホームドアはない。エスカレーターもない。女性トイレは和式が1つのみ、等々、障がい者にも高齢者や子どもにも使い勝手が悪く、危険です。さらに市のハザードマップでは洪水警戒地域に指定されており、ここに福祉の拠点である総合福祉センターを移転する計画に大いに疑問を感じました。



左:場所によってホームと電車との隙間20cm以上。大人でも注意が必要。  
右:女性用トイレには和式が1つしかなかった。

現総合福祉センターに20年近く夫が通っていたという方は、「調布駅前というアクセスの良さだけでなく、人々が行き交う日常の中に共にあることが大切」と言われました。まさに共生社会の在り様です。

この2年近く、コロナ禍で市民生活も活動も自粛を余儀なくされています。ならば、いま立ち止まって、市民参画の原点に戻って丁寧な説明と話し合いからやり直すことに何の問題があるのでしょうか？



## 活動報告

- 7/17 調布地域協議会主催 カニ山生き物調査  
調布市総合福祉センター整備に関する意見交換会傍聴
- 7/25 女性差別撤廃条約実現アクション主催 7.25女性の権利デー・パネルディスカッション「女性の権利を国際基準に！司法にジェンダー平等を！」
- 7/28 調布ネット 京王多摩川まちあるき
- 7/30 調布ネット 野川整備工事調査  
HPVワクチン東京訴訟支援ネットワーク主催  
HPVワクチンリーフレット問題勉強会
- 8/6 調布市議会広域交通問題等対策特別委員会  
外環道トンネル工事現地視察
- 8/12-13 NPO法人多摩住民自治研究所主催  
財政ステップアップ講座
- 8/16 調布ネット 総合福祉センター視察
- 8/17 調布市議会広域交通問題等対策特別委員会
- 8/18 調布ネット 調布市環境部出前講座  
第2回 調布市基本構想策定推進市民会議 傍聴

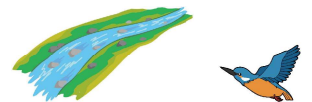


## 野川の整備工事 ～治水と環境保全の両面で～

突発的な豪雨による洪水を防ぐため、野川では20年計画で整備工事が行われています。世田谷流域に次いで、調布では2019年から上流に向かって工事が進んできています。流下能力を上げるため川底を掘り木枠で囲った石を埋設したり、流水で削られる“洗掘”箇所の護岸、渇水時に部分的に川の水がなくなる“瀬切れ”を防ぐため川底に粘土を貼るなどの工事です。

8月にこれまでの工事箇所と、今年の予定箇所(野川大橋～高谷橋間)を見てきました。緑が無くなってしまっただけでは心配の声が上がっていた護岸部分では、ジュート繊維で覆ったり、護岸の石に間を空けた事で、徐々に植生が戻ってきているのを確認しました。

野川に残された自然は、様々な生き物や植物を育み、私たちに癒しを与えています。治水とともに、この環境も守っていくことが大切です。今年の工事区間ではカワセミの営巣を促す工夫や、ヨシの群生の移植なども行われます。今後も治水と環境保全の両面から工事が行われるよう提言していきます。



上:整備工事後の谷戸橋付近  
右上:護岸工事後の緑の状況  
右:河床に埋設された石



- 8/23 第1回調布市男女共同参画推進センター運営委員会(男女共同参画推進プラン改訂について)傍聴
- 8/29 沖縄の基地問題を考える小金井の会主催  
「沖縄戦遺骨土砂問題:全国の議会に呼びかけた理由」
- 9/4 江東ネット主催 東京都子ども基本条例を学ぶ学習会
- 9/6 調布市議会第三回定例会開会(上程時質疑)
- 9/8-10 一般質問
- 9/11 市川房枝記念会女性と政治センター主催「“健常者・男性”中心社会を問う障害女性からの視座」瀬山紀子さん
- 9/12 「いないことにされる私たち」三多摩実行委員会主催「いないことにされる私たち～福島原発事故避難者と汚染水の現状」青木美希さん講演会
- 9/14-17 調布市議会定例会 委員会審査(文教)
- 9/23 リニア中央新幹線大深度を心配する品川の会主催  
「緊急学習会・リニア大深度地下工事 陥没事故が心配！」登壇
- 9/27 調布市議会第三回定例会閉会(反対討論)

